



日本共産党・金子卓

共産党議員は 5月30日に 4人そろって辞職しました

議会は市民多数の意思に背をむけ、弁明書を議決しました。

(※ 弁明書とは、議会を解散しないことの良いわけ)

私は、「住民こそ主人公」の立場つらぬく日本共産党の議員として 本日をもって自ら議員を辞職し、議会解散を強く求めるものです。

5月30日に、金子卓議員が議長に提出した辞表

日本共産党常陸大宮市議会議員団は、市民多数の意思に背をむける決定(弁明書の議決等)をした議会に強く抗議し、5月30日、大貫孝夫市議会議長に辞表を提出しました。辞職にあたって日本共産党議員団が発表した声明はつぎのとおりです。

声 明

- 常陸大宮市議会は5月26日に臨時議会を開き、「解散しないことについての議会の弁明」である弁明書を賛成多数で可決した。同時に、「市議会の自主解散に関する決議」を否決し、「市議会早期解散を求める陳情」を不採択とした。
- 日本共産党議員団は、「有権者の過半数が議会解散を求めている」とのべ、弁明書を出すことに反対し、「決議」と「陳情」に賛成した。
- 議会が弁明書を議決したことは、「解散しない」という意思表示であり、議会として明確に議会解散を拒否したことになる。
- 議会は、住民の声を代表してこそ、その役割を果たせるものである。市民多数の意思に背をむける決定をした議会に強く抗議し、私たち日本共産党議員団は本日をもって辞職するものである。そして、市民のみなさんとともに住民こそ主人公の議会実現に向けて力をつくす決意である。



2006年 5月 30日

日本共産党常陸大宮市議会議員団

金子卓
堀江仙三
堀江鶴治
押久保一郎

日本共産党

民主大宮

初めての市議選

「選挙公報」の発行を求める

五月二十六日の臨時議会終了後、日本共産党議員団は、「選挙公報を発行すべき」と議会議長と議会運営委員長に申し入れました。

県の資料によると昨年十二月末現在で県内三〇市のなかで議会議員選挙の公報を発行していないのは六市のみです。常陸太田市では今度の選挙から選挙公報を発行します。

常陸大宮市で今度おこなわれる市議選は合併後初めての選挙であり、公営揭示場のポスターや候補者カードだけでは候補者の公約や政策が以前にもましてわからず、候補者を選ぶための判断材料が不十分です。

二〇〇三年四月の統一地方選挙の後にアンケートをとった明るい選挙推進協会の意識調査では、「統一地方選挙で、候補者の情報を得るのに役に立ったもの」は選挙公報が第一位となっています。

同申し入れ書は、市長と選挙管理委員長にも提出しました。

2006年6月号外

発行/日本共産党大宮支部

電話052(2)2422

FAX052(2)2471